

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉北区大手町11番4号

2 設立年月日

平成2年10月20日（平成25年4月1日 公益財団法人化）

3 代表者

理事長 堀内 光子

4 基本財産

329,346千円

5 北九州市の出捐金

300,000千円（出捐の割合 91.1%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	10人	0人	1人	9人
常 勤	1人	0人	1人	0人
非常勤	9人	0人	0人	9人
職 員	28人	5人	0人	23人

7 市からのミッション

- ① 日本及び他のアジア諸国の男女共同参画に関する調査研究、国際交流、情報収集・発信等を通じて、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及び男女共同参画社会の形成の推進を図り、相互の発展に寄与する。
- ② 団体が有する国際的視点を備えた高い専門性や知識・情報、人的ネットワークなどを活用し、女性が活躍できる経済社会の実現など、本市における男女共同参画社会の形成の推進に寄与する。

II 令和5年度事業実績

《公益I事業：日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際交流等を通じて女性の地位向上を図る事業》

令和5年度も積極的にオンラインを活用するなど重要事業の継続的实施を図った。

調査・研究事業として、1組の客員研究員研究を選考するとともに、研究報告会をオンラインでアジアジェンダー研究者ネットワークセミナーをハイブリッド方式(会場、オンラインの併用)で実施した。

交流・研修事業としては、国際研修として、「行政官のためのジェンダー主流化政策」研修1回と、ブータン国に対し「ブータン・女性と子どもの保護とケア」研修を1回実施し、これまでの研修で築いたネットワークを活かし「アジア女性会議－北九州」を開催した。

第 67 回国連女性の地位委員会(CSW67)の報告会や国際理解セミナーを開催したほか、高校生向け男女共同参画意識の啓発セミナーを実施した。

【調査・研究事業】

KFAW 客員研究員による調査研究を行うとともに、研究報告会の開催や研究誌の刊行によって研究成果を公開し、研究者、市民等と共有した。また、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナーの開催やキャリア形成のためのプログラム改訂などを行った。

1 客員研究員研究

1 組の客員研究員研究を選考した（調査期間：令和 5 年度～令和 6 年度）。

ア KFAW 客員研究員と研究テーマ

「戦後日本社会における軍事と男性性の関係の検討

—新聞・雑誌メディアにおける自衛隊表象に着目して—

一橋大学大学院社会学研究科 児玉谷 レミ

イ 研究誌の刊行

・ 『アジア女性研究』第 33 号 400 部

・ 『KFAW 調査研究報告書』 各 100 部

2023-1 日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策

2023-2 80 年代日本のエコフェミニズム論争を統括する

—〈青木・上野論争〉の 5 つの争点をめぐって—

ウ 研究報告会の開催

(ア) 第 36 回 KFAW 研究報告会

① 日時 令和 6 年 3 月 9 日（土）14:00～16:00

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ（オンライン配信及び会場視聴）

③ 報告内容、報告者

「日本の起業活動の男女間格差と非三大都市圏の女性起業支援策」

島根県立大学地域政策学部准教授 建井 順子

「80 年代日本のエコフェミニズム論争を統括する

—〈青木・上野論争〉の 5 つの争点をめぐって—

立教大学 21 世紀社会デザイン研究科兼任講師 森田 系太郎

④ 参加者 44 名（オンライン 41 名、会場視聴 3 名）

2 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

ア アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

ジェンダーに関するさまざまな分野の研究者や実務者が、アジア地域を対象とする研究の成果について、市民を含む多くの人々と共有するため、セミナーを開催するとともに KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動の充実を図った。

(ア) 令和 5 年度第 1 回 KFAW アジアジェンダー研究者ネットワークセミナー

- ① テーマ 「ヘジャーブをめぐるポリテクス・ヴェールは何を表象しているのか」
- ② 日時 令和5年4月22日(土) 14:00~16:00
- ③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(会場参加及びオンライン配信)
- ④ 講師 横浜市立大学客員研究員 森田 豊子
- ⑤ 参加者 58名(会場19名、オンライン39名)
- ⑥ 内容 2022年9月にイランでヘジャーブの着用が不適切だったとして女性が警察に拘束された後、亡くなるという事件があった。今回のセミナーでは、この事件をきっかけに起こった抗議デモやイランにおけるヴェールの意味について、中東イスラーム地域、特にイラン地域研究者でありネットワーク所属の講師に実体験を交えてお話しいただいた。

イ キャリア形成のためのプログラム開発

大学生の卒業後の働き方や自己実現のために、ジェンダー平等及び女性のエンパワーメントの視点も踏まえ開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を改訂し、市内4大学で8回講義を行った。

3 ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究ツール作成事業(市からの委託事業)

令和4年度に市から受託した「北九州市における性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する市民意識調査」を踏まえ、若年層に対し意識変容を促すための実証実験用動画とリーフレットを作成した。

4 日本フェミニスト経済学会2023年度大会への後援事業

令和5年7月29日に福岡女子大学で大会「フェミニスト経済学とローカリティ-移動の自由と生き方の幅」(共通論題)が開催され、当財団の理事長が登壇し報告に対するコメントを行った。

【交流・研修事業】

「第34回アジア女性会議-北九州」や国際理解セミナー「世界をつなげるフィリピンの女性たち」などを開催した。

1 「アジア女性会議-北九州」等の国際セミナーの開催

ア アジア女性会議-北九州

「危機の時代を生きる」と題し、1月20日に開催した。第一部は「環境へのアプローチ」とし、気候変動などの地球の危機的状況と、北九州市とインドネシア・スラバヤ市で環境活動を行う団体の活動発表をジェンダーの視点から講演と発表を行い、第二部は「ウクライナ~平和へのアプローチ」とし、ウクライナの現状を知り、どんな戦争も正当化されないという意識と、平和の大切さを演奏と語りにより市民と共有した。

他に関連事業として2つ実施した。一つ目はムーブ相談室の女性の暴力ゼロ運動関連事業として、11月10日に「DV加害者は変わるか」と題した講座を英語同時通訳付きで共催し、世

界的に関心の高いトピックを海外の参加希望者にも配信した。二つ目は1月17日～28日に、企画パネル展「多様性 メディアが変えたもの メディアを変えたもの」を、日本新聞博物館およびムーブと開催した。企画理解を深める目的で1月21日に日本新聞博物館館長、尾高泉氏の講演を開催し、多角的に危機である状況やその方策を発信した。

(ア) 『第34回アジア女性会議—北九州』の開催

「危機の時代を生きる」 1部「環境へのアプローチ」、
2部「ウクライナ～平和へのアプローチ」

① 日時 令和6年1月20日(土) 13:30～16:30

② 場所 1部：オンライン配信(Zoom)、会場参加
2部：会場参加(会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ)

③ 参加者 1部：115名(オンライン68名、会場47名)、2部：134名(会場)

④ 登壇者 1部：講演／松下 和夫(京都大学名誉教授)
ユーストーク・セッション／森 友里歌(北九州市立大学大学院環境工学専攻建築デザインコース博士後期課程、NPO北九州ピオトップネットワーク研究会)、ハニィ・イスメイ(インドネシア・スラバヤ市NPOノル・サンパ共同設立者)
2部：出演／カテリーナ(ウクライナ・伝統楽器バンドウーラ奏者、歌手)

⑤ 報告書の作成(HP掲載)

イ 国際理解促進事業

昨今の移民問題やジェンダーについての理解を深めるため、フェリス女学院大学教授小ヶ谷氏に仕事のためにフィリピンから移動する女性たちについてご講演いただき、NGOセミナーではアフガニスタンでの女性への医療保健や国際協力について広く市民に知っていただくためのセミナーを開催した。

(ア) 第67回国連女性の地位委員会(CSW67)報告会

① 報告内容 CSW67について

<優先テーマ>

「ジェンダー平等とすべての女性・少女のエンパワーメント達成のためのデジタル時代における革新、技術変革及び教育」

<レビューテーマ>

「農山漁村女性・少女のジェンダー平等とエンパワーメント達成のための課題と機会(CSW62の合意結論)」

② 日時 令和5年5月30日(火) 14:00～15:30

③ 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(オンライン配信及び会場視聴)

④ 報告者(CSW67の会議概要報告)

堀内 光子(KFAW理事長)

⑤ 発表者

CSW67現地レポート

奥崎 鈴彩(株式会社GOTENリゾート 日本BPW連合会会員)

北九州市立大学外国語学部英米学科卒)

NGO フォーラム パラレルイベント参加報告

上野 真由子(アジア女性交流・研究フォーラム国際交流課)

- ⑥ 参加者 47名(オンライン42名 会場視聴5名)
- ⑦ 事後配信 YouTube 配信 令和5年6月上旬より1ヶ月程度

(イ) 国際理解セミナー

「世界をつなげるフィリピンの女性たち～

ナース、家事・介護労働者からコールセンターまで～」

- ① 日時 令和5年12月9日(土) 14:00～16:00
- ② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ(オンライン配信及び会場視聴)
- ③ 講師 小ヶ谷 千穂(フェリス女学院大学文学部教授)
- ④ 参加者 33名(オンライン29名 会場4名)

(ウ) NGO セミナー

① 「アフガニスタンの大地より」

(a) 日時 令和5年9月2日(土) 14:00～16:00

(b) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信(Zoom)

(c) 講師 藤田 千代子

(ベシワール会 PMS 支援室 室長および PMS 総院長補佐)

(d) 参加者 115名(会場67名 オンライン48名)

② 「わたしたちは13歳 職業、兵士」

(a) 日時 令和6年3月2日(土) 14:00～16:00

(b) 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信(Zoom)

(c) 講師 鬼丸 昌也(認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス創設者・理事)

(d) 参加者 47名(会場24名 オンライン23名)

(エ) 国連ウィメン日本協会北九州 講演会 「アフリカと夫と私」 【共催事業】

① 日時 令和5年12月3日(日) 14:00～15:45

② 場所 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
会場参加、オンライン配信(Zoom)

③ 講師 川原 佳代(認定 NPO 法人ロシナンテス 教育担当)

④ 参加者 151名(会場121名 オンライン30名)

⑤ 主催 国連ウィメン日本協会北九州

共催 (公財) アジア女性交流・研究フォーラム

ウ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

高校生が将来に向けて、自己実現やジェンダー平等を考えるためのセミナーを実施した。

(ア) 高校生セミナー「大学の講義にドキドキ!大学生と語る今ドキジェンダー!」

(北九州 ESD 協議会との共同実施)

- ① 内容 北九州市立大学地域創生学群准教授 寺田 千栄子氏にご講義いただいた後、高校生がジェンダーに関するワークショップを通じてSDG5(ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント)について学び、課題を共有して発表を行った。
- ② 日時 令和5年8月10日(木) 13:30~16:00
- ③ 場所 北九州市立大学 北方キャンパス
- ④ 企画運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生
- ⑤ 参加者 高校生 26名(公募)

2 海外拠点ネットワークの形成

SDGs 達成への取り組みを通じて、目標5を主とした海外拠点ネットワーク形成を目指し情報共有を図るため、フォーラムの活動内容をホームページで紹介した。

3 海外派遣

令和6年3月にニューヨークで開催された第68回国連女性の地位委員会(CSW68)への参加登録の機会を当財団の関係者に提供した。

【情報収集・発信事業】

ウェブニュースレター『Asian Breeze』の配信、ホームページ、SNSなどを活用しながら、アジア地域の女性に関する情報収集・発信やフォーラムの活動についての情報発信を行った。

1 ウェブニュースレター『Asian Breeze』等の配信・発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報発信し、ジェンダー問題に対する理解の浸透を図っていくため、ウェブニュースレター『Asian Breeze』(日本語・英語版)を配信した。また、KFAWの年間事業報告書『令和4(2022)年度 年報』を発行した。

ア ウェブニュースレター『Asian Breeze』(日本語版、英語版)の配信

- (ア) 第96号 令和5年5月
- (イ) 第97号 令和5年8月
- (ウ) 第98号 令和5年9月
- (エ) 第99号 令和5年12月
- (オ) 第100号 令和6年1月
- (カ) 第101号 令和6年3月

イ 年間事業報告書の発行

KFAWの年間事業報告書『令和4(2022)年度 年報』を発行した。

- (ア) 発行部数 250部
- (イ) 発行時期 令和5年8月

- ウ ホームページ、Facebook、X、Instagram アクセス等件数 158,538件
- (内訳) ホームページ(日/英) 119,776件

Facebook (日/英)	14,776 件
X (日/英)	4,374 件
Instagram (日/英)	19,612 件

2 海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外のジェンダー平等に関わる最新の状況について情報収集を行い、「KFAW ランチタイムトーク」の実施やホームページ、SNS などを通じて情報発信を行った。

ア KFAW ランチタイムトーク

(ア) 第1回 「インド×国際協力-児童労働ゼロにむけた NGO ACE の取組み」

- ① 日時 令和6年1月30日(火)12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 杉山 綾香(認定 NPO 法人 ACE 理事)
- ④ 参加者 31 名

(イ) 第2回 「リモートワークで実現! 山口の島での子育てと仕事の両立」

- ① 日時 令和6年2月27日(火) 12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 原元 望 (認定 NPO 法人 Free The Children Japan 副代表理事)
- ④ 参加者 34 名

(ウ) 第3回 「風通しの良い社会へ 知ってもらうことで差別をなくす。」

- ① 日時 令和6年3月27日(水)12:10~12:40
- ② 場所 オンライン配信
- ③ 出演者 石田 由香理 (JICA 職員)
- ④ 参加者 36 名

【国際研修事業】

1 JICA 研修 行政官のためのジェンダー主流化政策 2023 及び国別研修 ブータン・女性と子どもの保護とケア

開発途上国におけるジェンダー主流化の政策立案や推進が可能な行政官を育成する国際研修を独立行政法人国際協力機構九州センター (JICA 九州) から1回受託し、ブータン国内の女性や子どもの保護とケアの担当保護官向けの「ブータン・女性と子どもの保護とケア」の来日研修などを実施した。

ア 研修概要

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2023>

- (ア) 期間 令和5年6月28日(水)~7月27日(木)
- (イ) 場所 北九州市、東京
- (ウ) 研修 9カ国9名 (メキシコ、パキスタン、モルディブ、ネパール、フィジー、マーシャル諸島、ケニア、パプアニューギニア、マリ)

<ブータン・女性と子どもの保護とケア>

- (ア) 期間 令和5年5月11日(木)～6月16日(金)
- (イ) 場所 北九州市、東京
- (ウ) 研修員 32名(ブータン国全県に配置された女性と子どもの保護やケアを担当する保護官やNGO、警察官を2回に分けて実施)

イ 市民交流会の開催

ムーブと共催で、7月のムーブフェスタ期間中に2部構成のイベントステージを開催した。第1部を「世界の行政官とおしゃべりしよう～ジェンダーカフェによるこそ～」と題し、「行政官のためのジェンダー主流化政策研修」で来日した行政官と市民がジェンダーに関する意見交換を行った。ジェンダー課題を通じ、各国の文化や慣習についても関心や理解を深めるディスカッションを開催した。

<行政官のためのジェンダー主流化政策 2023>

- (ア) 日時 令和5年7月15日(土) 1部 13:00～15:30
- (イ) 場所 ムーブ1階交流広場
- (ウ) 参加者 77名

ウ その他研修

JICAの人材育成奨学計画(JDS)により、現在日本の大学院に留学しているガーナ、ネパール、エルサルバドルの行政官向けに、JDS事業受託業者から依頼を受けジェンダー研修を実施した。

<JDS ガーナ、ネパール、エルサルバドル留学生最終研修における講義>

- (ア) 日時 令和6年2月29日(木) 10:00～12:00
- (イ) 場所 オンライン
- (ウ) 参加者 36人
- (エ) 内容 「KFAW・ムーブ、北九州市の取り組み」講義とワークショップ

【大学生・高校生による体験学習等の受入】

ア 青山学院大学「地域実習」

- (ア) 時期 令和5年7月4日(火)～8日(土) 5日間
- (イ) 参加者 青山学院大学コミュニティ人間科学部3年生 3名
- (ウ) 指導者 青山学院大学地域実習担当教官 大島 まな(九州女子大学人間科学部教授)
- (エ) 内容 ムーブフェスタ市民企画事業参加団体との交流・意見交換、課題学習等

イ 福岡県立小倉高等学校体験活動「フィールドリサーチ」

- (ア) 時期 令和5年7月11日(火) 14:00～16:00
- (イ) 参加者 小倉高等学校第1学年 生徒24名
- (ウ) 内容 事前学習の成果発表と講評、フォーラム・ムーブの取組み

ウ 北九州市立大学インターンシップ

- (ア) 時期 令和5年9月6日(水)～8日(金)
- (イ) 参加者 北九州市立大学 学生1名
- (ウ) 内容 フォーラム・ムーブの業務の説明と体験

《公益目的事業Ⅱ：男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業》

事業実施にあたっては、「第4次北九州市男女共同参画基本計画」を踏まえながら、国連が定めた地球規模の行動計画である持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代の男女共同参画意識の向上

等を重点に、ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施した。

【指定管理事業】

1 男女共同参画センター管理運営業務

男女共同参画社会の形成に向けて各種男女共同参画事業等を実施するとともに、相談事業、情報事業、施設管理業務を行った。

また、KFAWで開発したキャリア形成プログラムを、KFAWの成果を活かして、平成28年度からムーブで実施している。

ア 男女共同参画事業（9事業、参加延人数1,856名）

(ア) 男女共同参画講座（4事業、参加延人数1,411名）

男女共同参画に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について啓発を行い、取り組みを促進した。

① 男女共同参画啓発講座

(a) 「わたしが始める！わたしサイズの政治参画」

講師：能條 桃子（NOYOUTH NOJYAPAN 代表）

(b) ムーブ映画祭

映画『夕陽のあと』

上映会&樋口 智巳さん（小倉昭和館 館主）と中島 俊介さん（シネクラブサポート 会長 西南女学院大学教授）によるトークイベント

(c) 出前講座（門司生涯学習センター大里分館）

「集団の中で臆することなく話す力をつけるには～参画とは発言すること～」

講師：中島 俊介（西南女学院大学教授・北九州市立大学名誉教授）

(d) 出前講座（八幡東生涯学習センター尾倉分館）

「素敵な言葉を素敵な声で！伝わる話し方でコミュニケーションを磨く」

講師：藤重 知子（合同会社ふじこカンパニー代表、声と話し方コンサルタント）

② おとこのライフセミナー

「男が働かない、いいじゃないか！」

講師：田中 俊之（大妻女子大学人間関係学部准教授）

③ 高校生向け男女共同参画意識の啓発

「大学の講義にドキドキ！大学生と語る今どきジェンダー！」（KFAW 共催事業・再掲）

企画・運営 北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習生

④ 語学講座（英会話）

(イ) 生活技術講座（5 事業、参加延人数 445 名）

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

- ① 男性向け講座（エプロン男子、父と子の食育講座、介護男子）、おとこの魅力アップシリーズ（おそうじ男子、育児男子、緑茶男子、家事シェア男子、時短料理男子、出前講座「メンズご飯!」、出前講座「男のたしなみ～コーヒー編～」ほか）

② 親子木工教室

イ 女性のエンパワーメント事業（11 事業、参加延人数 2,829 名）

女性の継続的な就業やキャリアアップのための支援を行うとともに、企業、地域等様々な分野での意思決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な地位へ成長していく層の育成支援を行った。

(ア) 働く女性のためのフォローアップ・ネットワーク形成

① 働く女性のためのフォローアップセミナー

『職場と私の「ウェルビーイング」を考えよう』

講師：前野 隆司（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授）

② ムーブカフェ

実施回数：2 回

講師：吉水 請子（ファディ株式会社 取締役/商品経営本部長）

松田 理恵（株式会社タカギ 総務人事部長 ダイバーシティ推進担当）

(イ) 働く女性に贈る！お役立ちワンポイントセミナー

(ウ) キャリア形成プログラム（再掲）

① 九州国際大学

実施回数：4 回

講師：大島 まな（九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター所長）

湯浅 壘道（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

廣瀬 幸（九州工業大学工学研究院電気電子工学研究系准教授）

山脇 直祐（日本経済大学経済学部経済学科講師）

② 九州女子大学

実施回数：1 回

講師：仙波 亮一（京都橘大学経営学部准教授）

③ 九州共立大学

実施回数：2 回

講師：仙波 亮一（京都橘大学経営学部准教授）

山脇 直祐（日本経済大学経済学部経済学科講師）

④ 西南女学院大学

実施回数：1 回

講師：松本 幸一（九州国際大学法学部教授）

ロールモデル：松本 麻子（北九州市障害者基幹相談支援センター 小児慢性特定疾病支援室長/相談担当課長）

(エ) 資格取得講座（介護事務講座、医療事務講座など）

(オ) パソコン講座

ほか

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業（4事業、参加延人数 5,778名）

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家庭や職場など日常生活の中で、維持増進できるように、技術と知識の習得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する講座等を開催した。

(ア) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座

「男の子の～『性』～泌尿器科医から見た思春期の心と体～

講師：池田 稔（泌尿器科医、池田クリニック院長）

(イ) 健康講座

① 心も身体もリフレッシュ！シェイプアップヨガ

② 冷えにさよなら！リラックスヨガ

③ ニュースポーツ健康教室

④ 楽しく踊ろう健康ダンス教室

(ウ) いまどきママのリフレッシュ講座

(エ) フィットネスルームの個人利用

エ 市民活動支援・連携事業（4事業、参加延人数 702名）

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開した。

(ア) ムーブ学生活動プロジェクト（北九州市立大学地域創生学群 ESD プロモート実習）

(イ) ムーブサポーター事業

(ウ) 人権を考える企業のつどい

(エ) 虐待予防事業～ポジティブ・ディシプリン®

オ ムーブフェスタ 2023

全体のテーマが「耀く」、キャッチコピーは「跳びだそう 耀く明日へ ムーブとともに！！」とし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、講演会、イベント等の事業を行った。

期間 令和5年7月1日（土）～令和5年7月22日（土）

参加延人数 32,000人（うち男性 7,548人）

(ア) 主催事業（4事業）

① オープニングイベント 講演会

「生き辛さの処方箋～「分人」という発想～」

講師：平野 啓一郎（小説家）

② イベントステージ

第1部「世界の行政官とおしゃべりしよう～ジェンダーカフェによろこそ～」(KFAW 共催)

第2部「アフリカンスペシャルステージ～大地の鼓動を体感せよ!～」

- ③ ジェンダー問題調査・研究報告会
- ④ 行列のできる! ? 法律相談Q & A
- ⑤ マガジンリサイクル

(イ) 市民企画事業

総事業数 95 事業

(イベント 58 事業、サマーカーニバル 9 事業、フリーマーケット 28 事業)

カ 相談事業

心の問題や生き方、性別による人権侵害、就労や法律に関する相談等について、相談室相談員をはじめ臨床心理士、キャリアコンサルタント、弁護士がジェンダーの視点に立って相談に応じた。また、離婚に関する女性の法律基礎講座や男性の法律相談会、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に連動した特別講座、福岡県弁護士会北九州部会との共催によるホットライン事業等を実施した。

(ア) 相談

こころと生き方の一般相談・性別による人権侵害相談・女性のための元気アップ相談(就労)・男性のための電話相談・女性のための無料法律相談等

区 分	電話	面談	メール等	合 計	
こころと生き方一般相談	3,395 件	40 件	11 件	3,446 件	4,185 件
ライン相談(9 か月間) 受託・モデル事業	—	—	210 件	210 件	
人権侵害相談	90 件	0 件		90 件	
女性の法律相談	—	127 件		127 件	
女性のための 元気アップ相談	130 件	56 件		186 件	
男性電話相談	126 件	—		126 件	

(イ) 講座等(4 講座、参加延人数 217 名)

- ① 女性のための離婚に関する法律基礎講座
- ② 男性のための離婚に関する法律相談会①②
- ③ 女性への暴力ゼロ運動特別講座 『DV加害者は変わるか』
- ④ グループ相談(試行実施)

(ウ) ホットライン(相談件数 20 件)

福岡県弁護士会北九州部会、配偶者暴力相談支援センターとの共催で、弁護士等が女性の人権侵害等に関する相談に電話で応じた。

- ① 女性の権利ホットライン【内閣府「男女共同参画週間」事業】
- ② 女性への暴力ゼロ! ホットライン【内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」事業】

(エ) その他啓発

① パネル展示

- ・デートDV防止「大切にしよう、自分のこと」
- ・DV防止「身体的暴力だけがDVではありません」

② 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーンに協力（小倉駅前広場）

キ 情報事業

(ア) 情報収集提供事業

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する図書や資料等の収集・提供を行うとともに、絵本等の読み聞かせ会を開催した。また、市内等で活動している団体やムーブの施設・講座等の情報をホームページ、フェイスブックやインスタグラム、ムーブメール等により提供した。

① 図書・資料等の収集

ジェンダー問題関連の図書を中心に、行政資料、雑誌、児童書、DVD 等の収集・提供の充実を図った。

(a) 蔵書数（令和6年3月31日現在）

図書 56,500 冊、雑誌 4,977 冊、DVD 116 本

② 図書・資料等の提供（貸出等）

図書の貸出・返却及び利用者並びに資料の登録・検索、図書統計資料の作成等に関する管理を北九州市立図書館とオンライン化した電算システムで行った。また、北九州市立図書館共通図書カードにより貸出を行うとともに、北九州市の各図書館との相互貸借も行った。

(a) 図書情報室利用状況（令和5年4月～令和6年3月31日）

貸出冊数 31,435 冊、貸出者数 12,202 人

(b) 親子を対象に絵本の読み聞かせをする「おはなし会」の開催 ほか

③ 男女共同参画関連情報の収集・提供

(a) 団体情報（ムーブネット）の収集提供

男女共同参画社会の実現のために市内及び近郊で活動している団体（グループ）の情報を情報システム「ムーブネット」により管理・提供した。

・登録件数 64 件（令和6年3月31日）

④ その他の情報提供

(a) ホームページ・フェイスブック・インスタグラム

ムーブの講座、イベント、図書、貸室などの最新情報を随時更新し、ホームページ等で提供した。

・アクセス件数（令和5年4月～令和6年3月31日）

ホームページ 221,671 件

フェイスブック 16,621 件

インスタグラム 22,220 件

(b) ムーブメール（メールマガジン）

ムーブの講座・イベントなどの最新情報を掲載したメールマガジン「ムーブメール」を

月1回配信した。

・ムーブメール登録者数 419人（令和6年3月31日現在）

(イ) 調査研究事業

① ジェンダー問題 調査・研究支援事業

(a) 令和5/6年度ジェンダー問題 調査・研究支援事業

ジェンダー問題を自主的に調査研究し、その問題解決を図るための糸口を見出そうと取り組んでいる市民グループ・研究者等を支援するために、その調査費の一部（第1・2年度それぞれ上限25万円）を助成した。令和5年度は、基礎調査（文献・インタビュー調査）を行う支援をした。研究成果として、令和7年3月に調査・研究結果をまとめた報告書を発行する予定である。

・テーマ：「都市計画マスタープランにおける女性参画の実態に関する研究」

・研究者：土屋 泰樹（富山大学 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科 特命助教）

② ジェンダーに関する啓発冊子の発行等事業

(a) 冊子『北九州市における女性の活躍推進実態調査2023』発行

北九州市内の事業所では、女性の活躍に関してどのような取り組みが行われているのか。その実態を把握するために調査を実施し、結果をまとめた『北九州市における女性の活躍推進実態調査2023』を発行した。

・調査対象 北九州市内の従業員数50人以上の民間・公営事業所

・調査項目 女性の雇用状況 育児休業制度 年次有給休暇 健康経営 旧姓使用の制度等

・発行部数 1,000部

(b) 『北九州市の男女共同参画統計データ集2020』のデータの一部をホームページに掲載し、随時更新した。

③ 男女共同参画に関する啓発事業

ムーブが発行した啓発冊子の活用と広報をテーマとした講演会や研修会を実施した。

(a) 大学生・高校生による体験学習等の受入

・福岡県立小倉高等学校体験活動「フィールドリサーチ」

日 時：令和5年7月11日（火）14:00～16:00

参加者：小倉高等学校第1学年 生徒24名

内 容：事前学習の成果発表と講評、フォーラム・ムーブの取組み

・青山学院大学「地域実習」

日 時：令和5年7月4日（火）～8日（土）5日間

参加者：青山学院大学コミュニティ人間科学部3年生 3名

指導者：大島 まな（青山学院大学地域実習担当教官）

内 容：ムーブフェスタ市民企画事業参加団体との交流・意見交換、課題学習等

・北九州市立大学インターンシップ

日 時：令和5年9月6日（水）～8日（金）

研修生：北九州市立大学 学生1名

内 容：フォーラム・ムーブの業務の説明と体験

(b) 出前研修の実施

- ・北九州市女性団体連絡協議会総会「改めて考える男女共同参画」

日 時：令和5年4月28日（金）14:30～15:30

参加者：約100名

内 容：男女共同参画に関する講演

- ・ESD推進いきいきシニア塾「男女共同参画（ジェンダー平等）の勧め ～人生100年時代を（“呪い”ではなく）恵みとするために～」

日 時：令和5年10月16日（月）10:00～12:00

参加者：30名

内 容：男女共同参画に関する北九州市や日本、世界の現状

- ・北九州商工会議所正副会頭会議卓話「男女共同参画（ジェンダー平等）の勧め～“人生100年時代”長寿社会の処方箋～」

日 時：令和5年12月5日（火）15:00～15:40

参加者：商工会議所正副会頭及び幹部職員26名

内 容：男女共同参画に関する課題など

(ウ) 広報事業

① 情報誌『ムービング』の発行

(a) 発行日 100号 令和5年6月10日

101号 令和5年10月1日

102号 令和6年2月29日

(b) 発行部数 100号 7,000部、101号および102号 6,500部

ク 施設管理業務

市民が安心して安全に利用でき、さらに利用しやすい施設とするため、環境面に考慮しつつ計画的かつ効率的な設備の充実・改修を行った。

また、視察の受入れなど、他都市等との連絡調整を行った。

(ア) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等、環境整備に努め、SNSや防災研修（消防訓練、AED操作研修等）などの職員研修を実施した。

(イ) 貸室業務

主催事業で利用しない施設について、市民グループ・企業等に貸出しを行った。（原則有料）

・令和5年度貸室利用人数 105,711人

≪参考：総利用者数 176,406人（うち主催事業参加延人数 70,695人）≫

(ウ) その他

① 視察受入れ

他都市等からの視察を受入れ、事業説明・意見交換や施設見学を行った。

・視察件数 14件、延人数 175人

② 講師派遣

各団体からの依頼に応じ、ハラスメント防止や男女共同参画等について講師を派遣し、講演・研修を実施した。

・派遣件数 23 件、延人数 1,422 人（うち 12 件 287 人 ハラスメント出前講座）

【自主事業】

1 男女共同参画センター自主事業

- ア 男女共同参画講座（英会話）
- イ 就業支援講座（医療事務講座、介護事務講座、パソコン講座 等）
- ウ 生活技術講座（夏休み親子木工教室）
- エ 健康講座（シェイプアップヨガ 等）

《その他事業Ⅰ：北九州市大手町ビル維持管理事業》

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検及び修繕による維持管理、並びに光熱水費の管理を行うとともに、北九州市大手町ビルの入居団体との施設の維持管理、防災、環境などに関する連絡、調整を行った。

《その他事業Ⅱ：北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業》

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行った。

《法人事業》

理事会・評議員会の開催や情報システムのセキュリティ対策、職員対象の様々な研修の実施など、公益財団法人として適正な管理運営を行うとともに、フォーラム賛助会員の加入促進を行った。

- 1 理事会・評議員会等の開催
- 2 情報システムのセキュリティ対策及び職員研修の実施
- 3 賛助会員加入の促進

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表(内訳表)

令和6年3月31日現在(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産	36,070,869	1,862,331	13,327,228	0	51,260,428
流動資産合計	36,070,869	1,862,331	13,327,228	0	51,260,428
2. 固定資産					
(1) 基本財産	164,672,887		164,672,886		329,345,773
基本財産合計	164,672,887		164,672,886		329,345,773
(2) その他固定資産	843,185		245,000		1,088,185
その他固定資産合計	843,185		245,000		1,088,185
固定資産合計	165,516,072		164,917,886		330,433,958
資産合計	201,586,941	1,862,331	178,245,114	0	381,694,386
II 負債の部					
1. 流動負債	16,830,273	1,862,331	243,353	0	18,935,957
流動負債合計	16,830,273	1,862,331	243,353	0	18,935,957
負債合計	16,830,273	1,862,331	243,353	0	18,935,957
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	161,583,048		161,583,047		323,166,095
指定正味財産合計	161,583,048		161,583,047		323,166,095
(うち基本財産への充当額)	161,583,048		161,583,047		323,166,095
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産	23,173,620	0	16,418,714		39,592,334
(うち基本財産への充当額)	3,089,839		3,089,839		6,179,678
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
正味財産合計	184,756,668	0	178,001,761		362,758,429
負債及び正味財産合計	201,586,941	1,862,331	178,245,114	0	381,694,386

2 正味財産増減計算書（内訳表）

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			その他の事業会計			法人会計	合 計
	日本及びアジア 地域の女性の地 位向上支援事業	男女共同参画 社会の形成 支 援 事 業	小 計	北 九 州 市 大 手 町 ビ ル 維 持 管 理 事 業	男女共同参画 センター-公益目的 外 貸 与 事 業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
受取会費	233,500		233,500				233,500	467,000
事業収益	293,283		293,283					293,283
指定管理施設自主事業費収益		4,548,577	4,548,577					4,548,577
委託料収益	6,978,211		6,978,211					6,978,211
北九州市委託金収益	1,815,000	181,522,056	183,337,056	38,027,630	50,170,282	88,197,912	19,000,000	271,534,968
受取補助金等	20,000,000		20,000,000					39,000,000
雑収益	38,454	212,560	251,014					251,014
経常収益計	31,073,960	186,283,193	217,357,153	38,027,630	50,170,282	88,197,912	20,949,011	326,504,076
(2) 経常費用								
事業費	38,302,378	188,838,526	227,140,904	38,027,630	50,170,282	88,197,912	14,342,020	315,338,816
管理費								14,342,020
経常費用計	38,302,378	188,838,526	227,140,904	38,027,630	50,170,282	88,197,912	14,342,020	329,680,836
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	▲7,228,418	▲2,555,333	▲9,783,751	0	0	0	6,606,991	▲3,176,760

2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
除却損失	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲7,228,418	▲2,555,333	▲9,783,751	0	0	0	6,606,991	▲3,176,760
一般正味財産期首残高	17,754,106	15,203,265	32,957,371	0	0	0	9,811,723	42,769,094
一般正味財産期末残高	10,525,688	12,647,932	23,173,620	0	0	0	16,418,714	39,592,334
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
一般正味財産への振替額	1,715,512		1,715,512				1,715,511	3,431,023
当期指定正味財産増減額	0		0				0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048		161,583,048				161,583,047	323,166,095
III 正味財産期末残高	172,108,736	12,647,932	184,756,668	0	0	0	178,001,761	362,758,429

IV 令和6年度事業計画

アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）は、これまで女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成に貢献するため、日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等の事業を実施するとともに、北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者としてさまざまな事業を展開してきた。

令和6年度においても、国連が定めた地球的目標である持続可能な開発目標（SDGs）の目標5（ジェンダー平等及び女性・少女のエンパワーメント）の観点を取り入れながら、北九州市が策定予定の「第5次北九州市男女共同参画基本計画」（以下「第5次基本計画」という）を踏まえ、

- ① ジェンダー主流化
- ② 就業に関する女性のエンパワーメント（能力構築）
- ③ 固定的な男女の役割分担意識の解消
- ④ 若い世代へのジェンダー平等意識の啓発

等ジェンダー問題の解決に向けた「市民をはじめ不特定多数の利益の増進に寄与する」公益目的事業を実施し、日本及び他のアジア諸国の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成を推進する。

【公益I事業】 日本及びアジア地域のジェンダー問題に関する調査研究、国際協力・交流等を通じて女性の地位向上を図る事業

1 事業概要

日本及び他のアジア地域の女性の地位向上及びジェンダー平等社会の形成の推進を目的に、これまでの活動を活かし、各分野で多様な人々のニーズを的確に捉え、時宜にかなったテーマを選定して調査・研究事業、交流・研修事業、情報収集・発信事業、国際研修など国際協力事業を実施する。

2 業務概要

(1) 調査・研究事業

客員研究員研究、KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動等によって、調査研究活動を充実させるとともに、プログラム開発、セミナーなどの開催を通じて、北九州市ひいては日本及び他のアジア地域におけるジェンダー平等社会の実現に貢献する。

ア 客員研究員研究

外部の研究者を積極的に活用して客員研究員研究を実施する。SDGsを踏まえ、国際的な動向や視点から国内の課題を明らかにし、ジェンダー平等社会の実現に貢献する。

イ 研究成果の広報

(ア) 研究報告会の開催

(イ) 研究誌の刊行

ウ KFAW アジアジェンダー研究者ネットワーク活動

(ア) アジアジェンダー研究者によるセミナーの開催

(イ) プログラム開発

(2) 交流・研修事業

「アジア女性会議—北九州」や国際セミナー等を開催する。また、市民とアジア諸国の市民と

の交流を通じて、ジェンダーに関する相互理解を深め、国際的視野を広げる。

海外のジェンダー関連組織との交流を進め、恒常的なネットワークの形成を目指す。

ア 「アジア女性会議－北九州」等の国際セミナーの開催

(ア) 第35回アジア女性会議－北九州

(イ) 国際理解促進事業

イ 海外拠点ネットワークの形成

国内外にあるジェンダー関連団体などと連携し、SDG目標5（ジェンダー平等および女性・少女のエンパワーメント）の達成を主としたネットワークの形成を目指す。

(3) 情報収集・発信事業

アジア・太平洋諸国を中心に、国連、各国政府、ジェンダー関連団体、国際協力団体、研究者など、これまで培ってきたネットワークをさらに広げ、情報収集活動を行う。また、それらの情報を基にした、ウェブニュースレター『Asian Breeze』をオンライン配信することで、さらに情報発信力を高め、関係組織と強固なネットワーク作りに努める。

(4) 国際研修事業

独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センターが、開発途上国におけるジェンダー主流化の立案・推進が可能な行政官の育成を目的に実施する国際研修「行政官のためのジェンダー主流化政策2024」を受託し、当該研修を企画・実施する。

【公益Ⅱ事業】 男女共同参画に関する事業を通じて男女共同参画社会の形成を推進する事業

○ 指定管理事業

1 事業概要

KFAWは、北九州市立男女共同参画センターの指定管理者として管理運営を行っており、引き続き男女共同参画推進の拠点施設として、男女共同参画等の推進、相談、情報事業等を展開していく。

2 業務概要

(1) 男女共同参画等推進事業

若い世代や働く女性、男性を中心に利用者層の拡大を図り、性別による固定的役割分担意識の解消、様々な分野での女性のエンパワーメント、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点も踏まえた生涯を通じた女性の健康支援、市民活動の支援や連携、相談事業等を展開し、市民に学習の場や能力構築の機会等を提供する。

ア 性別による固定的な役割分担意識の解消に関する事業

講演会などを通じ、広く市民に男女共同参画意識を啓発する機会を提供する。男性の家事への参画を促進する「おとこの魅力アップシリーズ」、「介護男子」、「父と子の食育」など男性を対象とした講座のさらなる充実を図る。また、若い世代への働きかけとして、高校生向けに男女共同参画意識の啓発に関する講座を実施する。

イ 女性のエンパワーメント事業

介護事務、医療事務、パソコンなど、就業に関するスキルの向上を通じ、女性のエンパワーメントや再就職を支援する講座の充実を図る。働く女性のキャリアアップ講座の修了生を

対象にフォローアップを図るセミナーの開催やネットワークづくりを支援する。また、学生の卒業後の働き方や自己実現のために開発した「大学生のためのキャリア形成プログラム」を活用した出前講座を実施する。さらに、様々な分野での女性リーダーの育成を支援するための講座を開催する。

ウ 生涯を通じた女性の健康支援事業

女性の多様な活動を支えるために、性と生殖に関する正しい理解を促す知識の習得の機会を提供する講座を開催する。また、生涯を通じた心と身体の健康を、日常生活の中で自分の力で維持促進できるよう、知識や技術の習得の機会を提供する。さらに育児期間の女性が心身ともに健康で過ごせるよう環境づくりを支援し、自分らしく生き生きと過ごすために心身ともにリフレッシュする講座を実施する。

エ ムーブフェスタ

開館以来続くムーブの中核事業である「ムーブフェスタ 2024」については、引き続き市民の自主的な研究発表・実践活動を積極的に支援し、市民による企画事業を中心とした各種イベント等を実施するとともに、市民や市民グループの交流・連携を促進して市民活動の活性化を図る。

(2) 相談事業

男女の心の問題や生き方、性別による人権侵害、夫婦の問題等について、ムーブ相談員・臨床心理士・弁護士等が、電話や面談、メールで相談を受ける。また、試行開設していた当事者同士の横のつながりの機会を提供するグループ相談（あったかサロン）を本格実施する。

さらに、相談から見えてくる課題を踏まえ、離婚に関する法律基礎講座や女性への暴力ゼロ特別講座、福岡県弁護士会との共催で「女性の権利ホットライン（2回/年）」等を実施する。

(3) 情報収集・発信事業

ジェンダー問題に関する国内外の図書・資料の充実を図るとともに、市民・研究者を対象に、ジェンダー問題調査・研究支援事業を実施する。

また、ホームページやフェイスブック、インスタグラムにより、男女共同参画に関する講座や事業に関する情報提供の充実を図る。情報誌『ムービング』を発行し、男女共同参画に関するさまざまな情報を広い読者層に向けて発信する。

(4) 管理事業

北九州市立男女共同参画センターの施設・設備について、環境に配慮しながら充実を図るとともに、より円滑な管理運営に努め、安全で快適な施設を提供する。

市民や団体等の自主的な活動の場として、施設の設置条例等に基づき、施設の貸与を行う。

○自主事業

男女共同参画社会の形成と個人の能力向上及び就業支援を目的に、受講料等を徴収し、資格取得・能力向上等を目指す講座や検定試験等を実施する。

【その他事業Ⅰ】 北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外の部分）維持管理事業

北九州市大手町ビル（北九州市立男女共同参画センター以外）の施設・設備の保守点検、修繕など

の維持管理を行う。また、施設の維持管理等に関して、ビルの入居団体との連絡・調整を行う。

【その他事業Ⅱ】 北九州市立男女共同参画センター等の公益目的以外の貸与事業

北九州市立男女共同参画センターにおいて、指定管理事業の一環として、公益目的以外に使用する団体等に施設の貸与を行う。

【法人事業】

以上の事業を適正に推進するため、評議員会・理事会の開催をはじめ、法人の管理・運営のための業務を行う。

V 令和6年度予算

収支予算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,757,000		1,757,000	3,514,000
受取会費	290,000		290,000	580,000
事業収益	200,000			200,000
指定管理施設自主事業費収益	9,461,000			9,461,000
委託料収益	6,371,000			6,371,000
北九州市委託金収益	221,449,000	45,924,000		267,373,000
受取補助金等	30,852,000		5,148,000	36,000,000
雑収益			40,000	40,000
経常収益計	270,380,000	45,924,000	7,235,000	323,539,000
(2) 経常費用				
事業費	270,880,000	45,924,000		316,804,000
管理費			13,701,000	13,701,000
経常費用計	270,880,000	45,924,000	13,701,000	330,505,000
当期経常増減額	▲500,000	0	▲6,466,000	▲6,966,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0

(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲500,000	0	▲6,466,000	▲6,966,000
一般正味財産期首残高	32,957,371	0	9,811,723	42,769,094
一般正味財産期末残高	32,457,371	0	3,345,723	35,803,094
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	161,583,048	0	161,583,047	323,166,095
指定正味財産期末残高	161,583,048	0	161,583,047	323,166,095
III 正味財産期末残高	194,040,419	0	164,928,770	358,969,189

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	堀内光子	公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム理事長
専務理事	梶尾美栄子	北九州市立男女共同参画センター所長
理事	秋月弘子	亜細亜大学教授
〃	大島まな	北九州市男女共同参画審議会会長
〃	小川健一郎	公益財団法人大阪YMCA代表理事
〃	北野久美	北九州市保育士会会長
〃	廣重純理	弁護士
〃	湯浅壱道	明治大学教授
監事	野中宏之	株式会社福岡銀行常務執行役員北九州代表兼本部長
〃	吉村知泰	北九州市会計室長

2 市との特命随意契約の状況（令和5年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				特命随意契約の場合その理由
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	
ジェンダー平等の実現に向けた調査・研究ツール作成業務委託	1,815	国や世界の男女共同参画に関する深い見識及び本市の男女共同参画の状況についての理解が要求されるため。	調査・研究を進めるための実証実験用ツールの作成	990	(株)東京商工リサーチ北九州支店	随意契約（見積合せ）	
北九州市立男女共同参画センターSNS相談業務委託	6,288	ムーブ相談室の機能強化が目的であること、また既存相談業務と一体的に履行することで業務を円滑に行い課題分析を効率的・効果的に実施できるため。	LINE相談システムパッケージ	1,606	エースチャイルド(株)	随意契約（見積合せ）	複数見積提出を依頼したが、有資格者の相談員派遣が可能な事業者が1社のみだったため
			追加配備相談員の派遣業務	3,803	マンパワーグループ(株)	随意契約（特命）	
合計	8,103		合計	6,408			

